

年度鳥取県立特別支援学校児童生徒通学支援に対する交付金事業計画書

支援対象者	氏名: 学校 学部 住所: 年 送迎区間(※1) ~ 送迎距離(※2) km
	氏名: 学校 学部 住所: 年 送迎区間(※1) ~ 送迎距離(※2) km
送迎業務を行う事務所名及びその所在地	
送迎(予定)者(車両の運転を行う者)	氏名: 氏名: 氏名:
介助(予定)者氏名(介助者が添乗する場合)及び介助者が有する資格	氏名: 資格: 氏名: 資格:
介助者がある場合は、介助の理由	
1台の車両に介助者が複数乗車する必要がある場合はその理由(別紙可)	
医療的ケアが必要な場合はその理由及びその内容	
事業対象距離(※3)	km
実施時期	年 月 日 から 年 月 日 まで
実施予定回数	年間 回(日)
基準額による算定額(A)	円 × 回 = 円
事業実施経費(B)	円
交付金申請額	円 (A)または(B)のいずれか低い額

- ※1 市名又は町村名及び大字名を記入すること。
 ※2 支援対象者が支援車両に乗車している距離を記入すること。
 ※3 送迎業務を行う事業者がその所在地を出発してから送迎を終えて再び当該所在地に到着するまでの距離を記入すること。
- 添付書類 1 本事業の対象となる区間(※3の区間)の経路がわかるもの。(送迎業務を行う事業者、支援対象者の自宅、学校の位置がわかること。)
 添付書類 2 医療的ケアが必要な児童生徒を送迎する場合の介助者単価を用いる場合は、その医療的ケアを行うのに必要な資格を有していることがわかるもの。
 添付書類 3 車両運行にあたり道路運送法等関係法令に規定された資格を有していることがわかるもの。

※他の交付金の活用の有無(○をつけてください)

有	活用する助成金名: 交付金事業内容: 交付金所管部署名、団体名: 問い合わせ先:
無	

年度鳥取県立特別支援学校児童生徒通学支援に対する交付金事業収支予算(決算)書

1 収 入

(単位:円)

区分	本年度予算額 (本年度決算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	備考
交付金			
合計			

2 支 出

(単位:円)

区分	本年度予算額 (本年度決算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	備考
合計			

注 対象事業の実施に必要な賃金、報償費、旅費、需用費、役務費、使用料及び賃借料、備品購入費、保険料等の区分ごとに記入すること。

3 対象事業の実施経費のうち、工事請負費及び委託料について、県内事業者への発注が困難な理由等(該当がある場合についてのみ記載)

様

鳥取県知事

年度鳥取県立特別支援学校児童生徒通学支援に対する交付金交付決定通知書

年 月 日付けの申請書(以下「申請書」という。)で申請のあった鳥取県立特別支援学校児童生徒通学支援に対する交付金(以下「本交付金」という。)については、鳥取県補助金等交付規則(昭和32年鳥取県規則第22号。以下「規則」という。)第6条第1項の規定に基づき、下記のとおり交付することに決定したので、規則第8条第1項の規定により通知します。

記

1 対象事業

本交付金の対象事業の内容は、〇〇〇とする。

2 交付決定額等

本交付金の交付決定額は、金 円とする。ただし、対象事業の内容が変更された場合における当該額については、別に通知するところによる。

3 交付額の確定

本交付金の額の確定は、対象事業の実績について、鳥取県立特別支援学校児童生徒通学支援に対する交付金交付要綱(平成16年4月12日教障第19号鳥取県教育委員会教育長通知。以下「要綱」という。)第3条第2項の規定を適用して算定した額と、2の交付決定額(変更された場合は、変更後の額とする。)のいずれか低い額により行う。

4 補助規程の遵守

交付金の収受、対象事業の遂行等に当たっては、規則及び要綱の規定に従わなければならない。

様式第4号(第7条関係)

年度鳥取県立特別支援学校児童生徒通学支援に対する交付金事業実績報告書

支援対象者	氏名: 学校 氏名: 学校 氏名: 学校 氏名: 学校
送迎者	氏名: 氏名:
介助者	氏名: 氏名:
事業対象距離(※1)	km
実施時期	年 月 日から 年 月 日まで
実施回数	回()日
基準額による算定額 (A)	円× 回= 円
事業実施経費(B)	円
交付金実績額	円 (A)または(B)のいずれか低い額

※1 送迎業務を行う事業者がその所在地を出発してから送迎を終えて再び当該所在地に到着するまでの距離を記入すること。

※添付書類 送迎者、介助者及び実施回数を確認することができる台帳、日誌等の書類

※他の交付金の活用の有無(○をつけてください)

有	活用する助成金名: 交付金事業内容: 交付金所管部署名、団体名: 問い合わせ先:
無	